

I. 広東省

1 広深港高速鉄道の初日の乗客者数はのべ 18.5 万人

●広深港高速鉄道の初日（23 日）の乗客者数は、往復 95 本の運行に対して、のべ 18.5 万人だった（24 日付「南方日報」1 面）。

※広州南駅発の列車が多いが、長沙南駅発、昆明南駅発、北京西駅発、上海虹橋駅発の列車もある。広州南駅発香港西九龍駅着の最速の列車は直通で 47 分。各駅停車は 1 時間 17 分。各駅停車の場合、停車駅は虎門駅（または慶盛駅。この場合は 1 時間 15 分）、光明駅、深セン北駅、福田駅、香港西九龍駅である。

2 8 月の広東省経済状況

●広東省の 8 月の貿易総額は 4.52 兆円で前年同期比 5.4%増だった。そのうち輸出が 2.66 兆元（同比 0.4%減）、輸入が 1.86 兆元（同比 15.1%増）だった。一帯一路沿線国家の貿易額は 1 兆 119.4 億元（同比 6.1%増）だった。クロスボーダー電子商取引の貿易額は 466.8 億元（同比 60%増）だった（27 日付「南方日報」11 面）。

II. 広州市

1 従化大橋が正式開通

●25 日、従化大橋が正式に開通した。全長 1.39 キロメートル、幅 40 メートルで、従化区市街地の河東区と市街地北部エリアの重要な交通の中枢となる（26 日付「広州日報」1 面）。

2 広州市の企業に就職した留学帰国者の約 6 割が月給 8,000 元以下

●広州大学広州発展研究院と広州市青書研究院が公表した青書によれば最近 5 年の統計では広州市の企業に就職した帰国留学者の男女比率はおよそ 43 対 57 で女性の方が多い。広東省の戸籍保有者は 55.7%で広州市戸籍は 20%である。月給が 8,000 元以下の人が 62.8%、1 万元を超える人が 21.6%だった。留学帰国者の 35.15%が北京、上海、広州、深センを最初の職場として選択し、広州市の人気は第 2 位である。広州市を選んだ理由は「仕事の将来性」（30.9%）が最も多く、「経済発展の速度」（23.9%）、「給料や福利厚生」（16.2%）と続く（26 日付「広州日報」17 面）。

3 張碩輔・広州市党書記がシスコグローバル高級副総裁兼大中華圏会長と会見

●27 日、張碩輔・広州市党書記が陳仕煒・シスコグローバル高級副総裁兼大中華圏会長一行と会見した。張碩輔・党書記は、広州は広東・香港・マカオビッグベイエリア建設のチャンスをしっかり掴み、改革・開放・イノベーションを強く押し進め、モノのインター

ネットやビッグデータ等のデジタル経済の集積の発展を率先していくと述べた。また、シスコがスマート都市とスマート産業の融合発展の模範になることを希望していると述べた。陳仕煒・副総裁は、シスコはグローバル協力パートナーと積極的に新モデルや新業態を模索し、新市場や新領域を開拓し、世界一流のスマート科学技術産業の形態を築いていきたいと述べた（28日付「広州日報」1面）。

※シスコシステムズとは、アメリカに本社を置く世界最大のコンピューターネットワーク機器開発会社。事業内容はネットワークシステム、ソリューション販売とこれらに関するサービスの提供。日本には東京本社の他に6つの支店がある。

Ⅲ. 深セン

1 衆安保険が日本財産保険有限公司と協力協定に署名

●26日、衆安保険（衆安在線財産保険股份有限公司）が日本財産保険（中国）有限公司（損保ジャパン日本興亜（中国））と協力協定に署名した。両者はネット保険や日本市場での競争力を高めることで合意した（27日付「深セン特区報」AⅡ1面）。

※衆安保険はアリババやテンセントなどが出資して2013年に設立された中国最王手のインターネット専業保険会社。

Ⅳ. 福建省

1 食品産業発展ハイフォーラム対話が福清市で開催

●22日、2018年食品産業発展ハイフォーラム対話が福清市で開催され、300名近い海外の華僑及び国内の企業家代表団が参加した。福清市政府と京東グループが、eコマース、物流、ビッグデータなどで協力し、グローバル食品産業クラウド基地の設立、グローバル食品展示交易公共サービスプラットフォームの設立、食品産業データ経済サービス体系の完全化、グローバル食品データ経済産業センターの設立等の協力に署名した（25日付「福建日報」3面）。

Ⅴ. 海南省

1 海南省で4,049人が初の国家統一法律職業試験に参加

●22日、初の国家統一法律職業資格試験が海南省海口市と三亜市でも行われた。海南省の客観試験の受験者は4,049人（申込者4,991人、参加率81%）だった（23日付「海南日報」2面）。

※2018年は全国で47万人余りが参加した（申込者は60.4万人余り）。国家統一法律職業試験は、従来の司法試験の四種類から九種類の職種に対象を広げた試験。客観試験合格者のみ、10月の主観試験に参加することができる。客観試験は紙の解答用紙を使わず、全てコ

ンピューター試験。主観試験では全国 5 つの試験区でのみコンピューター試験が行われる。

2 海南省観光代表団が日本を訪問

●18 日～22 日，海南省観光委組織海口市観光委，三亜市海防港局，海南省観光協会等の海南観光部門・協会，企業グループ海南観光代表団が直行便の就航や日本人観光客の開拓を推し進めるため，日本を訪問した。19 日午前，海南観光代表団は名古屋で，日本日中平和観光，阪急交通社等の観光業者，中国国際航空，南方航空，東方航空の各名古屋支店代表と座談会を行った。海南省観光代表団一行は海南省の観光状況について紹介し，海南省と名古屋の直行便の就航や日本の中部地方の観光客状況について話し合った。20 日と 21 日は，海南省観光代表団一行は JTB 等の観光業者を訪れ，日本の海外旅行業界について視察した。現在海南省は，海南省と東京・大阪への直行便の就航を積極的に推し進めている（24 日付「海南日報」1 面）。

3 海口市とブルネイの直行便が就航

●ロイヤルブルネイ航空が，10 月 30 日より海口市とブルネイの首都であるバンダルスリブガワンの直行便を毎週 2 便就航させる（24 日付「海南日報」1 面）。